

海岸の護岸整備により約6千人を浸水被害から防護

—有明・高浜地区（高萩市）の護岸整備—



- 高萩市の有明・高浜地区では、昭和50年代には侵食による砂浜の減少により、台風や低気圧が通過する度に越波被害が生じていました。
- そこで、砂浜の回復を目的とした離岸堤の整備と併せて護岸の嵩上げを実施しました。
- 施設の整備により、**地域住民約6,000人**および**住宅約2,500戸**を高潮等による**浸水被害から防護**しています。
- 景観・ユニバーサルデザインに配慮し、護岸背面を石積模様とし、階段部にはスロープを設置しています。
- 高浜地区では、護岸背後に**市民参加のアートプロジェクト**が行われています。

有明高浜海岸 L=2, 215m



護岸整備の状況

整備前の越波状況(昭和63年)



整備後の状況(平成20年)

